

わたしたちを守る、
わたしたちが守る、

地域医療



No.191

市地域医療対策室 ☎ 31-0213

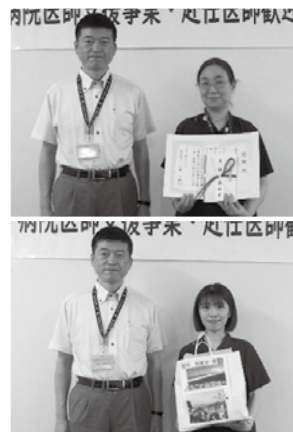
7月8日

勤続10年医師および新たに赴任された医師に記念品を贈呈しました！

益田赤十字病院において、勤続10年を迎えた医師および新たに赴任された医師に感謝と歓迎の意を伝える「病院勤務医師支援事業・赴任医師歓迎事業」を実施しました。益田の医療を守る市民の会役員、市議会議員、益田保健所所長とともに訪問し、地元特産品や施設利用券などを贈呈しました。

勤続10年を迎えたのは、産婦人科部長の片桐敦子医師です。片桐医師は「同じ病院に長く勤務することで病院・地域の事情が分かってきた。今後も母子の安全を確保できるよう努めていきたい。」と心強い言葉を述べられました。

また、新たに7月1日付けで赴任されたのは小児科の徳島麻里衣医師です。徳島医師からは「益田は子どもの頃から馴染みのある場所であり、来れたことを嬉しく思う。」と温かいお言葉をいただきました。忙しい中でも、ぜひ益田の暮らしを楽しんでいただきたいと思います。



7月11日

「地域医療を守り育てる住民活動2026」が益田で開催されました！

市立保健センター大ホールにて「地域医療を守り育てる住民活動2026 in 益田」が開催され、島根県内各地の地域医療を守るために活動している住民団体をはじめ、医療・福祉・議会・行政関係者、医学生など総勢79名が益田に集いました。この住民活動は平成23年度に始まり、毎年県内各地の住民団体が持ち回りで開催しています。益田での開催は平成29年度以来2回目となり、益田の医療を守る市民の会が企画・運営しました。

第1部では島根県健康福祉部医療統括監 兼 雲南保健所長の谷口 栄作氏が「これからの地域医療の姿」と題して講演しました。第2部のワークショップでは、島根大学医学部地域医療支援学講座の佐野 千晶教授が全体ファシリテーターを務め、津和野共存病院、益田赤十字病院、よしか病院の若手医師3名がそれぞれ地域医療への思いを語りました。続くグループワークでは若手医師の話を聞いて感じたことや、お互いの活動状況や抱えている課題について情報交換を行いました。

地域医療を多様な視点から捉え、今後の動向を見据えながら今できることを実践していくことの重要性を改めて感じただけで

なく、さまざまな職種の人々が対話を通じて情報を共有し、課題を一緒に考えることの大切さを実感しました。参加者それぞれが地域医療への思いを新たに、充実した会となりました。



谷口 栄作 氏

佐野 千晶 教授



津和野共存病院 総合診療科 鈴木 真紀 医師(左)
益田赤十字病院 総合診療内科 青木 光 医師(中)
よしか病院 総合診療科 三谷 俊貴 医師(右)



益田の医療を守る市民の会 会員募集中！

益田の医療を守る市民の会では「医師や看護師との意見交換」「シンポジウムや学習会」「他地域との情報交換」等の活動を行なっています。私たちと一緒に活動してみよう！と思われる方は、どなたでも遠慮なくご入会ください。

入会の問い合わせは、下記の事務局までご連絡ください。

事務局：698-0041 益田市高津町イ 2559-1 社会福祉法人暁ほほえみ福祉会内

益田の医療を守る市民の会 (☎ 25-7070 ☎ 25-7301)

年会費：1,000 円 (本会主催の行事および会報誌作成・送付費用等に充てさせていただきます)

